

大阪・関西万博に登場！

日高川町の魅力を世界へ



令和7年4月～10月に大阪市此花区夢洲において開催された「大阪・関西万博」。この国際的イベントは「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界各国・各地域が未来への提案を発信していました。その中の「関西パビリオン」において、**日高川町も2度の機会にわたり出展を行いました。**



9月12日(金)～13日(土)

日高地方の食文化・魅力を発信



日高広域観光振興協議会の一員として、日高振興局と日高地方7市町が合同で「和食の源流は日高にあり」をテーマに観光PRイベントを実施しました。食材は和食の源流である醤油、かつお節、真妻わさび、南高梅を展示し、かつお節削り体験や真妻わさびのすりおろし体験を行いました。試飲試食コーナーでは、ごんちゃんのか、金山寺味噌、梅ジューズなどを用意し、お客様に楽しんでいただきました。

また、町のマスコットキャラクター「あゆの助」と「みかにゃん」も登場し、記念撮影には家族連れを中心に長い列ができるほどの盛況ぶりでした。さらに大型モニターを使ったPRタイムでは、旬の観光資源を紹介するほか、クイズ大会なども交えてお客様との交流を深めました。



9月18日(木)～19日(金)

道成寺の絵とき説法



翌週には、日高川町単独の取り組みとして「道成寺の絵とき説法」を披露。会場では2日間で14回(うち2回は英語も開催され、各回とも満席に近い賑わいを見せました。小野院主によるユーモアを交えた語り口で、安珍と清姫の物語の世界観をわかりやすく紹介。終始和やかな雰囲気の中で、お客様の笑顔とともに町の歴史と文化が伝えられました。

また、話題の映画『国宝』との関係や、歌舞伎との結びつきといった豆知識の紹介も好評で、文化への関心を深める貴重な機会となりました。

町の魅力を、もっと多くの人へ――

これからも日高川町は、地域資源を活かした観光振興と情報発信に取り組み、町の賑わいづくりを進めてまいります。皆様のご理解とご協力のもと、町のさらなる活性化に努めてまいります。